

事例 2

株式会社日商 Nissy-Farm (業務内容：室内型植物工場)

特別支援学校、就労継続・就労移行から一般就労への流れを 地域と共につくる

課題

地域には、特別支援学校や就労継続A/B型支援事業所・就労移行支援事業所はあるが、支援を得たその先に一般就労で働ける企業が少ない

- ▶ 地域の中で自立した生活を目指せるように生涯安心して働ける職場をつくる。
- ▶ 障がい者に限らず誰もが安全快適に働ける職場をつくる。(合理的配慮)

取組

令和4年3月より植物工場の運営を開始

- ▶ 法的要求の整備、障がい者職業生活相談員の配置。
- ▶ 合理的配慮をおこなったフォロー体制の構築。
- ▶ 採用に向けて、地域の特別支援学校、就労移行支援事業所より職場実習の受け入れ。

展望

雇用の拡大「作業所定員30名」を目指す

- ▶ 地域福祉関連機関とのつながりを強化(宣伝/広報活動)。
- ▶ 障がい者の労働対価の向上を図るため、収穫した野菜の販路を拡大。
- ▶ 法定雇用率の達成に意欲のある地域企業が共同利用できるよう検討(サテライトオフィス化)。

地域福祉関連機関との連携により、障がいのある方の包括支援を行い、地域共生社会の実現を目指す



事業に参加しての感想 (株)日商 Nissy-Farm 杉野さん (運営責任者)

他の企業を見学させていただいた中で、障がいのある方が就職する際、選択肢が1つでも多くあることが大切であると思いました。

当作業所は、環境が整った新しい農福連携事業の形として働く1つの場所であり、今後はSDGsの理念でもある「誰一人取り残さない」を地域の方と共に、障がいのある方が多様な働き方が出来るよう取り組んでいきます。

植物工場内での作業風景(左:梱包、右:支援学校より実習)

